



動ブツたち 小林耕二郎 2017.3.4-4.2

Opening Reception 3.4 sat 18:00-

小林耕二郎の、当ギャラリーでの3回目の個展「動ブツたち」は、これまで発表してきた「低地 | Hollow」「Concave」の一連の流れに従いながら、知覚の及ばない「他の世界」=「動物達の住む世界（環世界）」への通路を見つけることを試みる。

小林は一貫して、彫刻における輪郭の問題に取り組んできた。彼の彫刻は、彫刻として空間に立ち現れるものから、地を穿つことで空間に場所を譲るようなものへと移り変わっていったが、小林にとってこの二つの行為は別物ではなく、輪郭=境界の問題という点でいずれも同一線上にある。

「穴を掘る」それは人間にとって、遺骸を埋めるための行為である。そして幾種類かの動物にとっては、風を避け、身を守り、子を育てる場所を作る行為である。そして犬が穴を掘る仕草をするのは、家畜化されたために失われたオオカミの本能の名残であるらしい。

人間が穴を掘り、遺骸を埋め、そこを墓とするのは、場所を作ること、つまり、個人がここにいた（あるいはいる）ことを示すものである。「自己のアイデンティティは場所を拠り所として成立する」（※1）のであれば、個人という主体は場所を失った時点で消滅するが、人間の共同体は、死して尚場所を確保するのだ。

しかし、遺骸は風化し、穴だけが「いた」という存在の痕跡が残る。

墓同様、台座もまた存在の在りかを指し示すものである。その意味で、台座と墓は共に存在とその消滅の両義性を内包する表層である。

そしておそらく、この「空虚を抱えた表面」（※2）こそ、小林のしている彫刻なのではないか。小林の言葉で言えば「閉じ込めの表れ」だ。

本展では、さらに展開させ、この閉じ込められた個人の知覚の外にあるものへと踏み込もうとする。すべての生物は個体としてバラバラな時間と空間の中を動き回っている。個の在る場所は固定されたものではない。個体が生きるということは空間と時間を引き摺りながら動き回っているということだ。

動物が穴を掘ることと人間が穴を掘ることは、その行為において大きく異なる。「犬」は家畜化されたため、常に自然と人間の間を行き来し続ける存在である。この犬の行為に「個を超えた世界」への通路があるのだろうか。

本展において「出会うことのないものとすれ違う」（小林）ことができれば幸いである。

（※1）開龍美「生命地域主義における人間観：人間と場所の問題」上智大学一般人間研究室、2009年。開はここで、「もし自分がどこにいるのか分からなかったら、それは自分が誰なのか分からないことと同じだ」というウェンデル・ベリーの言葉を引用している。

（※2）戸谷茂雄「自作を巡る彫刻論1 「墓と彫刻」『ET IN ARCADIA EGO 墓は語るか：彫刻と呼ばれる、隠された場所』武蔵野美術大学美術館・図書館、2013年

本展企画者 島津こころ

小林耕二郎 略歴 / Kojiro KOBAYASHI

2003 年 多摩美術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

2001 年 金沢美術工芸大学美術学部彫刻学科卒業

個人 及び アーティストユニット「構想計画所」としての主な活動歴 / EXHIBITIONS

2016 年 個展 [CONCAVE] gallery COEXIST-TOKYO

個展 [動物と動物のあいだ] 多摩美術大学彫刻学科棟ギャラリー

構想計画所 [TRANS ART TOKYO 2016] 旧長島ビル

構想計画所 [3331 Art Fair - Various Collectors Prizes-] 3331 ARTS CHIYODA

2015 年 個展 [低地 | HOLLOW] gallery COEXIST-TOKYO

[TAMABI EIZO FESTIVAL] 3331 ARTS CHIYODA AKIBATAMABI21

構想計画所 [引込線] 旧所沢市立第2学校給食センター

構想計画所 [第18回 岡本太郎芸術賞展] 川崎市岡本太郎美術館

構想計画所 [無人 =Atopia] gallery COEXIST-TOKYO

2014 年 構想計画所 [疑存島 - 他者なき世界の地図作成法] gallery COEXIST-TOKYO

構想計画所 [雑木林を巡る哲学と美術と出来事] 小平市中央公園 雑木林

構想計画所 [旅をよむ ARTIST BOOK] 3331 ARTS CHIYODA AKIBATAMABI21

2013 年 [秘密の部屋 ヤドカリトーキョー vol.09] 小石川旧外国人用簡易宿泊所

[ART SESSION TUKUBA] TX 研究学園前公園

構想計画所 [Impact 8] Duncan of Jordanstone College of Art & Design

構想計画所 [水源地の芸術 Direct Access Method] 神奈川県立相模湖交流センター

2012 年 構想計画所 [風・景・観] アートラボはしもと

2011 年 個展 [FROW] 新宿眼科画廊

2010 年 構想計画所 [更新に憑く - 可塑的な無人島 -] 3331 ARTS CHIYODA AKIBATAMABI21

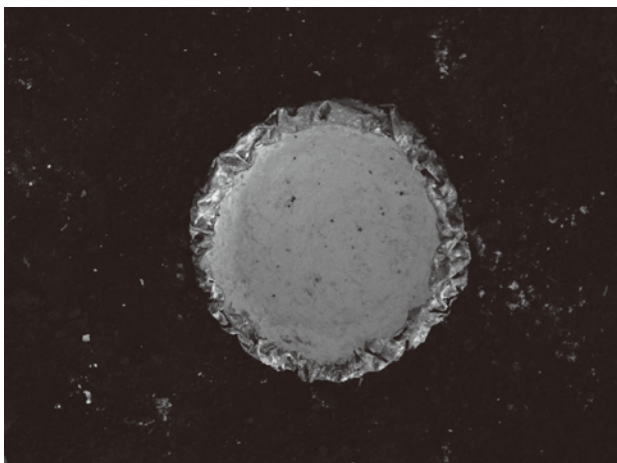
[探索者 石井厚生退職記念展 - 諸材料卒業生と共に -] 多摩美術大学美術館

[Toyota Art Competition] 豊田市美術館

2009 年 個展 [CALLING] Gallery Kingyo

[イセ文化基金が支援する若手作家達] MUSEUM at TAMADA PROJECTS

2008 年 ART PROGRAM OME 2008 [空気遠近法 - U39] 旧青梅市農林高校講堂



■この件に関するお問い合わせ

gallery COEXIST-TOKYO (ギャラリーコエグジストトーキョー)

135-0042 東京都江東区木場 3-18-17 2F

TEL 03-5809-9949 MAIL info@coexist-tokyo.com

URL <http://coexist-tokyo.com>

企画担当：加藤